

報道機関各位

2017年12月8日

## 持続性癌疼痛治療薬「オキシコンチン®TR錠」新発売のお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、持続性癌疼痛治療薬「オキシコンチン®錠」（一般名：オキシコドン塩酸塩水和物）の新剤形品として、乱用防止を目的とした「オキシコンチン®TR錠」を本日新発売しましたので、お知らせいたします。

当社は従来より、日本におけるがん性疼痛の緩和ケア普及に努めてまいりました。その中で、患者さまや医療従事者の皆さまのニーズに応じた適切ながん性疼痛治療が選択できるよう、錠剤（MSコンチン®錠、オキシコンチン®錠、メサペイン®錠）や散剤（オキノーム®散）、注射剤（オキファスト®注）などの様々なオピオイド鎮痛薬をお届けしてまいりました。また、より良い疼痛管理の実現と患者さまのQOL（Quality of Life）改善を目指し、オピオイド鎮痛薬により誘発される便秘の緩和薬「スインプロイク®錠」を本年6月に発売いたしました。

がん性疼痛治療において、オピオイド鎮痛薬は重要な役割を果たしており、近年では、地域包括ケアの進展により在宅医療の重要性も高まっていることから、オピオイド鎮痛薬の適正使用がこれまで以上に求められることが予想されています\*1。また、米国においては2013年以降、米国食品医薬品局（FDA）が乱用防止特性を持つ薬剤の使用を推奨し、ガイドランス\*2も出されるなどオピオイド鎮痛薬の適正使用が推進され、従来の製剤からの切り替えが進められています。今回、当社のがん性疼痛治療薬のラインアップに「オキシコンチン®TR錠」が新たに加わることにより、本製品の特性\*3に基づき、オピオイド鎮痛薬の適正使用のさらなる推進と乱用の防止が期待されます。

塩野義製薬は、「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標として掲げた中期経営計画SGS2020の中で、「疼痛・神経」をコア疾患領域のひとつに選択し、疼痛治療に関する諸課題を解決する画期的新薬の創製に注力しています。引き続き疼痛領域における取り組みを強化し、社会課題の解決とさまざまな痛みでお困りの患者さまのQOL向上に貢献してまいります。

以上

[お問合せ先]

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

※<sup>1</sup> 平成 29 年 4 月発行板「医療用麻薬適正使用ガイダンス」

※<sup>2</sup> “Guidance for Industry: Abuse-Deterrent Opioids – Evaluation and Labeling” (final guidance),  
“General Principles for Evaluating the Abuse Deterrence of Generic Solid Oral Opioid Drug  
Products” (draft guidance)

※<sup>3</sup> 錠剤の硬度を高くすることで粉末まで砕くことが困難であるとともに、水を含むとゲル化する特徴  
を有している